

新潟県佐渡市 ゼロカーボンアイランド推進事業

○日本海最大の離島

- 国際保護鳥のトキの野生復帰に代表されるように、多様な生物が共生する「里山・里海」が広がる自然豊かな島
※2011年に日本で初めて世界遺産農業遺産（GIAHS：ジアス）に認定

○課題

- 人口5万人 年間1千人ずつ減少。高齢化率42%
- 離島ゆえにエネルギー供給に課題あり。90%以上を化石燃料由来の火力発電に依存
- 燃料を島外から移入しており、災害時には復旧に時間がかかる

○これまでの取組

- 2020年に「ゼロカーボンアイランド」を宣言。太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの地産地消により、CO₂の実質排出量ゼロを目指す
※新庁舎（今秋竣工）におけるZEB Ready認証以上の取得
- 「脱炭素、資源循環、自然共生」の実現により、環境・経済・社会を統合した社会、一人ひとりが安心して暮らしてつづける島を目指しているところ。

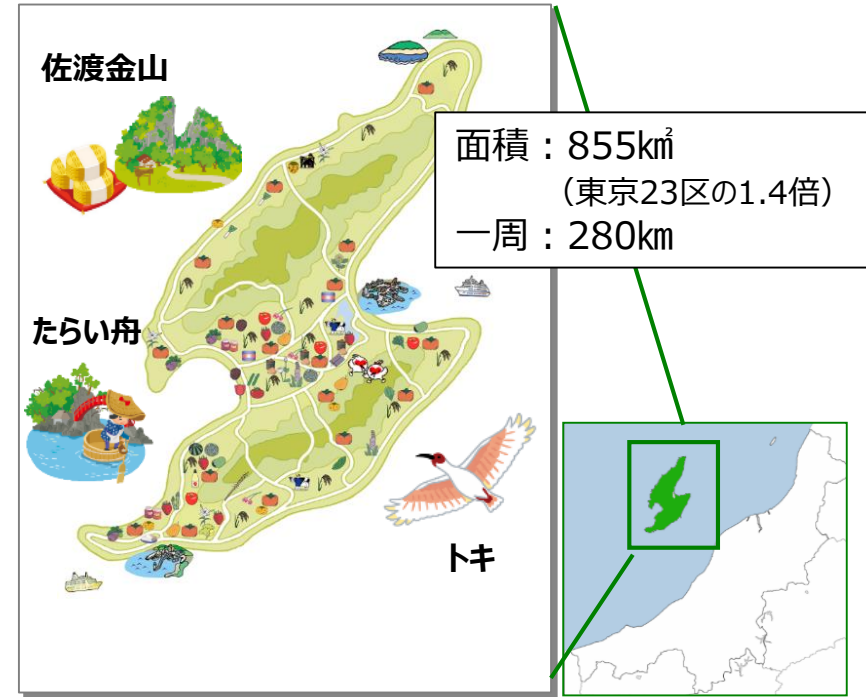


2022年12月 大雪災害（災害救助法適用）

2022年「SDGs未来都市」選定



2022年「脱炭素先行地域」選定



【連絡先】

佐渡市役所企画部総合政策課
 地域エネルギー係 渡部・北見（プロジェクト関係）
 政策推進係 菊池（企業版ふるさと納税）
 TEL：0259-63-3802 Mail：kikaku@city.niigata.jp



佐渡島における脱炭素社会実現に向けた将来ビジョン

地産地消エネルギーを活用した持続可能な島づくり

佐渡島のエネルギーについて『環境』と『防災』を柱に捉え、併せて様々な地域課題を同時解決！

● 2050年 カーボンニュートラルの実現

● 2030年 脱炭素先行地域の実現

(佐渡島の特性活用)

トキと共に暮らす脱炭素・生物多様性の島の実現

環境の島

(佐渡島の弱点克服)

災害時にも安心して暮らせる島の実現

防災の島

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



地域課題の解決！

環境ブランド向上

(自然里山の維持、佐渡産品・観光の脱炭素・再エネブランディング等)

地域の活性化

(移住定住人口、交流人口の増、集落維持等)

安心安全な暮らし

(地産地消エネルギーによる防災強化、市民の安全確保等)

経済の活性化

(新産業創出、雇用創出、エネルギー資源の域外流出抑制等)

企業版ふるさと納税を活用して進めたい具体的取組

1. EV及び充電インフラ等の設備導入

島内のEV普及促進と有効活用のため、以下設備等の導入を促進する！

- 公用EVの率先導入
- 各所に充電インフラを整備（設備空白地解消）し、利便性を向上
- 避難所等へのV2H設備を整備し、防災力を向上

2. 公用EVによる脱炭素化と有効活用

① 災害時の活用

本土と電力系統が繋がっていない佐渡島は、防災面で大きなリスク有り。V2H整備を各所に導入し、災害時には公用EVを派遣して電力を供給！

停電からの復旧期間
(赤区域：約10日間)



公用EVの普及
(9年間で25台)



② 観光等への活用

観光シーズンは移動手段となるレンタカーが不足。佐渡金山の世界遺産登録を目指す佐渡島では早期に解決すべき重要課題。公用EVのレンタカー活用等、公用車の有効活用と観光課題等を解消！併せて、ゼロカーボンによる観光ブランディング等を展開。



企業への協力依頼	企業のメリット
<ul style="list-style-type: none"> ● 企業版ふるさと納税によるご支援 ● EV活用策、観光ブランディングの展開策等のご提案 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会貢献企業、脱炭素支援企業としてのブランド価値の向上 ● 市長表彰、HP・広報誌による企業PR ● 佐渡島内での新事業展開

脱炭素や世界遺産などいま注目を浴びる佐渡のさらなるブランディング向上にご支援ください！